

プロレタリア通信

別冊 NO.6

1958・12・10

我々はすぐる一年もブルジョア階級とのきびしい斗争にあつてくれた。し
不口レタリア大獄の偉大な戦斗悲劇にもかゝわらず、又資本主義の衰
弱に向ひ、いかへゆる世界革命への道程は峻しく、又きびしい。何故なら
革命的有効性がどこに見ゆるか知らぬ。

其の上に於ては、前半の如きは、後半の如きに於ては、必ずしも、

←共産主義運動は未だ勝利していなか

の回向的結合を求めて全國から集つた。我々の多くは、學生運動の実戦力、焰力中で、スルジヨア階級に対する激しい憎意と、スローダリヤ階級に対する恨いなし信義とを植へければ、心に革命的インテリゲンチヤを大變する。改革主義者と木原松方等が義切りにもかくわらず口を苦難に尋ねて、オレをつづけてゐる君は革命的スローダリヤートと我々の結合をめぐらしてばかりじまと勢く十分でない。

しかし我々は採取會因斯圖爾特の死滅へ人間の眞の解放を意味する世界共產主義革命の戦略を放棄し、もはや教育者としての焰能をおつれるやうに「公認」の共產主義运动の指導者と自らをは、ありと可見し、大衆的共產主義の結成によるコレタリヤ無产阶级実現といつて偉大な事業を死を賄してもやうと誓ひ立つた。

我々の國にはきびしこの憲法の監視の眼ははらばしてゐる。「公認」の共產主義运动の指導部から口口ソキズト、「文部階級の手先」、教育者とのバトルが激化せかけられている。しかし我々は一切の荒唐不軌してマックス・レーニン主義の革命的伝統を忠実に守り、その眞印をたかくかげて進むであつた。

全国の青年同志諸君、

我々の憲法と思想と感情は次の手書の中に未だ未だ未だつま取つてゐる。我々の思想を同じくし、スルジヨアジーと、我等に火を送るべく革命運動を毒し、「シニヒニ」の看護に対する火の矢が燃え、同志諸君に我々は熱情をもつてゐる。日本革命者階級の革命的前途のために我々に進みよとせぬいか。

アーティストによる口述

東
京

御存し、英米の支那をおいては、對華を不可避かにしめ、國境を廢絶し、全世界を一つの自分力分筋のうちに分布する天同体に轉化し諸民族が解成を実現せざるを得ない。

人種はまだ二つの階級に分裂せられてゐる。たしかに、シナートロニアと中國を中心としたエーラシア大陸の大部分ではアルジヨアジーは打倒され、しかし地方的として共産主義は可能であらうからスである。地球上の一大部分ではまだ資本の專制に呻吟し、或争が恐怖におひえる人々が生存していながら。そして四十年にも亘つて世界三者との不可調和を原因から切り離された國境内での自定的王者建設の空制は、產主義の影響を蒙きたむだにて書しておきて来た裏切りと背教の社會の基盤を提供する。

ラ・ラ・ラ・ラ・ラ

アラス革命の行方は今日革命運動の帰宿を決する最も鋭い焦点であり、それを形成している。何故（國際）今日アラスにおいて手に民族のエネルギーが併存せしれであるだろうか。それは資本主義的發展が本質的にその、革命戦に何らかの特徴を孕えり得て、それが「最も鋭い矛盾」の集積に「しきり」していり得るアラスノ世界市場における地位によつてのみ説明される。アラスの激動は資本主義的な世界市場の法則性にそのモードによる。國境の済み中では、資本關係が未成熟でゐることにして、それが今いか「國民的」な課題であるかのように、今は全く非マルクス主義を意識する。「ともかくもヨーロッパ盾（生産力と交通形態の古いものと新舊）」がある一因ににおいて衝突にいたるためにはその國自身の中ににおいて、世界にまことに「めぐれ」してゐなければならぬといつわざはない。抜粋された国际的交通によつてひきおこされた産業的「新しい」、「もう進展してゐる諸國との競争」だけでも、産業力發展がおこれてゐる國においても「似た矛盾」すなはに十分である。（マルクス）アラスにおける國家的、民族的發展にはブルジョアジーの民族国家形成の運動を意味する。そのために彼らは世界的には階層的（といふよりは「二体制」）の均衡と、その平衡のうえに依拠し、帝国主義的擴張のおもとにたゞれなく呑んだ民衆を政治的に動搖しながら帝國主義者から靈通を譲歩をかうどるというナチュラルボーバルチストの下で自らの擴張の条件を拡大してくる。イラクでもこうだ。王朝的奴才のことで政治的に奮闘して来た「過激農民」やトルコの「アラブ自由」をかし、又世界中の資本の競争に觸れる事にうとうと努力を以て、日本が改革が促進されたにすぎないのだ。（日本の奥地改革を同

アラス革命と帝国主義本國のヨロレタリア革命の命體とはアルゼエリア革命或事に於て實感されへゝある。ヨリだした恐ろしく巨大なアルジエリア革命戦争の軍をもしとどめうとするフランススルジヨアジーの力に於ける權力の消滅こそがフランスの政治的の變の根源を説明する。フランススルジヨアジーは世界市場における自己の立場をサハラ沙漠の特保によつて取戻そつとする。だからいちがるしくヨロレタリア的民性的性格を帯びて發展していけるアルジエリアの独立戦争に歩むる事は出来ぬ。勿論後者は何才方といふ重敵と共に義路をも必要としているけれども。フランススルジヨアジーは当面ボナルチスト型政体に自らの支配の道具を用出した。アルジエリア革命のもたらすを表の如くによつては更にヨロレタリアの一切の民主主義的組織を野原にせんめつげしくアシストローラリアートはアルジエリア戦争の階級的性格をばつさりとくえ「革命主義」のレーニンの實的のものと結集しもやスルジヨア支配の著拂の役割としてしかの意味と併存する。アートの革命的努力をたゞ方に開始せねばならぬであり、このようつたフランススルジヨアジーの死の苦因は彼らにとってのみ存するものではない。過去數年間続いたスームに無事した全世界のスルジヨアは多や世界工農大の運をもつて進展するであつた大恐慌のアーチの手数々による最も巨大な反帝主義の斗争の實をし、くりと自らの力掌中に握りしめた時に、はじめて道徳的古意味を持ちうる。

それ故に帝国主義者は自らノゾムに似て成長して一均なるナヒルヤカセムに対する若千の羨望からゆきうちかしよりが、もじとの實動か、平民的性格を帶びる者になると無限にも干渉にのりだす。だからアラスの国民はいかに他のアルジエリ亞諸國民とよらんとアラスの國の體の中で革命をとことんすゑ遂行しようと考える事は出来ぬ。もし、そつとならばアルジエリ亞的「祖国」を形成するだけのエナルギーは早懶だよ前、今迄よりも數倍に加重されに矛盾に苦しむねばかりでないであつた。彼らはアルジエリ亞社会の心臓部に向つてその暴力的爆発を歴々かえす事なしにどうして自らを解放しうるだううか。

アラス革命と帝国主義本國のヨロレタリア革命の命體とはアルゼエリア革命或事に於て實感されへゝある。ヨリだした恐ろしく巨大なアルジエリア革命戦争の軍をもしとどめうとするフランススルジヨアジーの力に於ける權力の消滅こそがフランスの政治的の變の根源を説明する。フランススルジヨアジーは世界市場における自己の立場をサハラ沙漠の特保によつて取戻そつとする。だからいちがるしくヨロレタリア的民性的性格を帯びて發展していけるアルジエリアの独立戦争に歩むる事は出来ぬ。勿論後者は何才方といふ重敵と共に義路をも必要としているけれども。フランススルジヨアジーは当面ボナルチスト型政体に自らの支配の道具を用出した。アルジエリア革命のもたらすを表の如くによつては更にヨロレタリアの一切の民主主義的組織を野原にせんめつげしくアシストローラリアートはアルジエリア戦争の階級的性格をばつさりとくえ「革命主義」のレーニンの實的のものと結集しもやスルジヨア支配の著拂の役割としてしかの意味と併存する。アートの革命的努力をたゞ方に開始せねばならぬであり、このようつたフランススルジヨアジーの死の苦因は彼らにとってのみ存するものではない。過去數年間続いたスームに無事した全世界のスルジヨアは多や世界工農大の運をもつて進展するであつた大恐慌のにおひえている。スルジヨアの制度にまさる變遷をられた

(3) 等の事実だけでも、アーリジニアの生産過程のもう一種類をどうしたかを示すのである。それで、次に某の工場の機械を用意してしまふので、國家的標準化について若干の上手な手本を示さうとする景況背景に付せんが、とおもつて是態

事のないだけにスルジニアの医生産婆のもつ機械をことんに立ちあしす
すある事によってこれが衆に矛盾の激化を用意してくるのだ。國家的階級操怍
にかゝって紳士の上昇をめざせている豪傑階級は早晩もとおぞろいし争競
がかかるものである。平等、平和、順調に運んだ時勢のスルジニア
ジーの実業的社會に代へていかゞやかと政治的死斗が始まっている。その死斗に
耐えぬく者に帝国主義諸國家の対立はかつてやく、實在化し、彼らの再編成
が始まっている。アメリカはもとと萬能に振舞つてゐるが、それはまた自己
を廢めて、する日本、ドイツと方々に銃じ帝國主義的対立をひきおこさう
るを得ないであつた。ド・ラールーをして「偉大」とも意見のフランスは
アシダリにかゝともと社會的暴力として登場するかも知れぬ。彼らは
ペロレタニアートの脅威の前に不可逆的な經濟的政治的私選を調整して政治的に
業界をかためかゝとしているが誰がその主人公となるかは政治家の實験で
は決せられる。資本之力が種類を決定する。それが彼らは一切の矛盾を
クロレタリアートにおしかばせながら合理化を進め、植民地を独占し、市
場を独占すべきとする。数百万の労働者が工場から追われ街頭にほおりだ
さうつ、ある。再び恐慌、革命、戦争といった歎詞の周期がおとづれなか
としている。しかしやは唯恐クロレタリアートが正しい指導者を有した時
にのみ新たに時代を切り開くために利用する事が出来る。もし、これに失敗
するなら再び動搖したスルジニアは強化され、長期に亘る暗黒を意味する
であつた。この恐慌を人民的に走散して民主主義的な疾患を世界に回復し
がつたどといふのは全くの反動的クロレタリアにすぎぬ。「兩体制」の共
母の慈慈をうちたためる等といつのは田舎主義の重圧の下に苦しむ人
民を導くする以外の何事でもない。帝國主義体制は、かしけけている。

破産して「公認」の共産主義運動の指導部

今日のアコントリニアートの活動は「これにむだる一切の社会秩序を強力めに鎮撫する」といたゞく、そのみ自己の目的外達成されねば、公私と宣言する」（マルクス）が産業主義によつて導かれじてゐるであつたのである。マニエートロシアや中国のアコントリニアートの指導者は、「他の資本主義國にたいし、たゞめがり、他の國々の被搾王階級を自分へ國へに飛ばしけそれらの國内で資本家にたいする擣起をおこし、必要な場合にば、武力に訴えても撲取階級との國家に反対して行動する」（レーニン）の意識をとつてゐるであつたか？ そして「階級がなし社会主义をうなげて天下には戦争をひきすゝことはあらず」とのレーニンの旗印は高く掲げられてゐるのであつたか？ これに對して共产党公認のイギリスは口をそろえてこう云ひたのである。それはもう古くからいた。今日では戦争は不平運ではなくなくなったのでた。資本主義にて「社会主義」は平和的に戦争する事によつてその實現は決せられたのである。

今日、公認の国际共産主義運動の中に幾つか流れが存在する。しかも、彼らは平和共存の侵略ガースに基いて、帝国主義戦争を勃発する民族を除去する爲に斗争のではなく、その一時的阻止を自己目的化し、全世界的規模での共産主義の建設という戦略構築から一國の譲渡を抽象化、統計化するといつてはおいて本質は全く同一である。その統一した綱領は「十ニヶ国宣言」と「和平宣言」である。

「ニヶ国宣言」と「和平宣言」を以て、アコントロシア共産定期、一国社会主義建設の統一化において最も徹底した立場をとつてゐる。それ故に彼らは「他國の國々の被搾取階級を自分の一側にひきつけ、資本家に対する蜂起をおこさせる」というのはなく、「この一國の事はこの國民が決めてねばならぬ」。だから諸君はマニエートロシアに干涉しないで坐れ（フルシチヨフ）と、民族共産主義の本質をあきらかにする。そして世界革命は国际的な共産主義的統制の実施によって回復しようとする。それは「この問題」なる。世間革命の意味といふが、無効革命を認識しながらスルジヨアジーとの關係によつてそれを回復するとの政策を述べてゐる。しかし、資本主義に回復された国において自足の方針を選擇は、生産力危機におびえ失しきれた地上の尊嚴をめざすた

(4) る。それ更にアメリカを盟主とする国際スルジョアジーの政治的結果をもたらし、彼らを中心とした「帝國主義」の勢力が世界の運営の中心としておかれてしまう。偉大な十月革命主義革命の「十月革命」はソビエト大公国などとは全くちがって次の「うつに翻された」レーニンの「和平に廻る教會」に「しきるる」とのない拍子「を送り」にのどめた。「たゞちに休戦協定をもつて軍事を実験するにあたつてわたくせスロベニアアラニヤの發展に多くを寄与した國々の自覺した効用をために要じかける。」フルントヨフは「アメリカスルジョアジー」との均衡を保つために行はアジアアラス民族スルジョアジーとの妥協も「平和努力の増大」というチセにかけて合理化しようととしている。

「かのレーニンの之後、日本主義の國に於ける政治的動向を察する所見は、その他の如く、余儀なくしたロシアの鐵道網を以て、其の運営を主導せるものであつて、併し其の運営が、必ず是正を許さなかつた。マッカインにして、「甲午年以來、本ヌルシヤドイデスカヨギー」とと謂ふべく、獨逸帝國の導入による保護から後退は「廢則」にまで進みゆけられた。「専制の實」に応じる外洋はより個體的原則の運用では是認され、物神業界的關係は廢棄した。所有者の利益を外に向つても内に向つても同一のものために作られた組織に代つて、ヨロレタリヤートの自然、創造性を最大限に發揮するために作られた大衆組織、ヨウエートは变形し、ヨロレタリヤートの報酬をつける關係とはすくへ社会から独立して行つた。これらは「價値規則」・「物神業界的關係」にとどまらず、特權的關係の存在、個人の利益と特权を持へとすの後の「價値意識」こそが一革命の総化を導いたのであつた。

したのである。國民的階級争はロシアにおいて中國的民族主義的として、しかも英國的として、しかもも東洋的としての立場の要求したのである。しかる處の存在を認識した階級的立場の要求したのである。しかし、彼の政治的立場はロシアにおける鎌國的民族主義社会主義組織は「全くの反動的」として「ロシア」である。レーニンは当時俄羅スに於いて語りながら、「我々の心からはじめての困難は國族的不幸である」とモスクワの労働者に國族主義的民族思想を伝えた。しかしドレイツキの敗北によつて國族主義の統制は徹底され、國族主義は組織に於いてではなく、一小羣者が「國族主義主義」で社会主義へとの五国コースを必要としたのであつた。それは共産主義的金剛、商業取引の導入等価値法則への遵従を意味した。しかし、レーニンはそれが「社会主義の原則から後退であり我々は公然とこれを労働者につけてはならない」と諭すのを忘れてはなかつた。こうして「國族主義」は「英國的」として小生産者のバラクに分散された結果に対する上部構造としてその姿を完全に失わにして、「レーニン」の國族主義の自由と改正するため、レーニンは共産主義の改組、労働者のマーチニキ斗争の主張、スターリンの効率主義の幾つかの手段を極めたのであった。

〔五〕日本スローレタリアートの斗筆

保持しないといつて好い。世界革命は不確定の未来においてやらざるとの結果を抱くであろう。

5

その結果は、もとより、最も争斗的な部分に自らの基礎をおいている。またその正義は帝國主義者との斗争によって流されたところが、準軍事的なものにして、續つてこられる。だから故に今日公認の共産党の立場は、むしろこの危機的状態は、国际的な階級斗争における革命的か二つのだ。

今こそアーリヤーの革命的力量を发挥して階級斗争を指導する事の出来る実力的な能力を備えた前線部隊を組織せねばならぬ。

運動を長い期間に亘りして毒しきりして見たスター・リン革命はもや難解的になくなつた事が立派な大会で話題へれた。それはジタマとおひのく見えてゐるのよりに思はれたが、しかし革命的ロジタリアートの眞の指導部を選舉する期待は日々裏切られつゝある。

今日世界革命の戰線を放棄し、「平和主義」を金科玉条としたゞく「教育者」の一群の世界的存在をもつて我々は一つのインターナショナルの存在としての崩壊を認り得るのであらう。

かつてレーニン曰帝國主義の過程で社會排斥主義が蘊藏した年ニインターナショナルの問題を豫謀しないが、社會排斥主義は日和見主義のもともからじゆくしたもつとも成された形態である事をあきらかにした。こういつ潮流が生れたのは日本人の先進諸族が殖民地民族や弱小民族、略奪する事によつて「ブルジョアジー」とアーリーの超過利潤の一小部分で「ロレタリ」アートの上空を泥濘する事を可能にしていた」とことまるものである。彼らは直接の階級であるから彼らとの統一は「労働者阶级」「自由」のブルジョニアードーと同盟する事であり革命的仲間を分裂させる事、の如きの行為からのみが眞に

的氣分を反映してゐる所である。

筆同流! 彼らは、總務主導の組織的方針に反対する潮流の代表としている。しかばれ彼らの中でも高野等に代表される指導部が政治的な立場は革命的理論の除外であり、中央仕込みの「赤い子の虎」論をかりてわざなくなり警戒され争の巨擘所轄を掌握することが出来ず民間の機関的運営乃至解消しながら前もって後づの裏切りを黙認され、これにて運営する手筋を絶するところが出来ない。彼らは理論的支柱を田代日和見的恩想に求めたり、併せて近代的ロレタリーアート思想に武装した眞の植年節を代表する二点を主張する。従つて専門家大眾化を実現化にこなす、わらず、彼らは結局において半ばより及半米にしてもうかるを得難いであつた。

人々本業規定は彼らの裏切り的性格に(しては我々に)しては年々頻繁に変更實じてゐること。彼らは實業家と對抗斗争の中で驚くべきもの政策的無感覚とし無力感をバク口したばかりでなく、實業家反対のために斗争を開始する一部からセクト的活動があるとの本業にみられるようにその階級的意識を全く理解せず相も変わらず実業家の立場をくり返すことによつて民同左派の連携りなどから政治的カンパニーへすりかえに対する最も良き支在となりてゐる。そしてやがて連れてくるロレタリーアートの利益を広めを大業のそれにして解消してロレタリーアートの解放によつて人間を解放するのでではなくて能能な大家の一挙力等をも寄与する事マルクス主義を張りおわしづながら一方では五四の統一行動に續いて直ちに石ロレタリーアートの全面的攻撃の組織が起つてゐるといふ事実の如きことが勝利の鍵とし

卷之三

ネルギーに対して本能的に恐怖心をいたして居る。彼らの裏切り的性格は十一・五の蘇我守、六・七日の元寇中止者等にありますといふを示されて居る。若し革新的指導部が日々その斗争の過程の中で彼らに代り得る斗い、革新の方針の付運による大規模なパンロード多数の獲得に成功せず、黄本の攻勢の中で伊勢源氏敵が第4回に襲撃され、斗いに参戦するから源氏は急速にその官僚体制の中に其の力をどうもめでてしなうに成功するであろう。それはオーバー過ぎたことにかゝつても仕方ない事ではない。そこで可憐といひやう。このナウルの民衆を承認して動向に因して右下部勢力の大暴走圧力を反撃した其的努力が挽くもの」と云ふ。左

しかし、スルジヨアジーは、一方で「潔まり行く志向」の「きよしにむかひ」はじめていた。しかし、その危機さえも彼らは認めようととしている世界的大市場争奪戦の中で、帝國主義的地位を確保するためにより政事經營者において、国内の多角化体制を一等に確固に確立するべく、労働階級においても、彼らとの対話をための橋樋を与えた。日本経済に対する攻撃が成功したと見て、彼らは次は全速で紗糸の斗争で中興として不景のしむけさせのものとして、激怒するであろう労働者の大潮流を形成して対資本階級の所縫外に發展する所に先手を打つて一大政略攻撃を開始したのだ。

政略攻撃提出——彼らはともかくやれたスルジヨアジー独裁の牙をあざ笑にしながらスローラティーナーにむかひかゝって来た。このかゝる事態の中で、日本のスローラティーナーは西園の牙の威嚇——民的諸権利の根柢をさうめの攻撃の意味を抱んど直感的にうつしめていた。それで、事態の中に日本労働者をひきだりこもへとする改良主義者の後退と動搖、裏切り、奪取行為の外に、内挙を隠すよどみとする「部のセクト的動きがある」とのや々木吉彦のむどうなくべき無慾にもかゝわらず、十一月五日の衆議院選舉は、労働階級の侵入と階級的力量を發揮して斗ひ切た。小スルルは、臺灣をスルジヨアジー懲戒の前に自ら、その政治的権利の喪失をおそれ、スローラティーナーの行動にはげきざられながら行動に立ちあがつた。スルジヨアジーは華の政略地位の需要が政府本部に到り改組内閣を今まで滋養しきねない状勢のやつに、發行方針を立てた。九月の終りから十日、当初の自信にみだる反對意見の反対は、完全な反対をまで狂い、その政治委員会は動搖し、自信喪失した。「全面的監査なり攻撃へ」の左翼のスローガンは、震轟をもつて譲られた事態であった。しかし、大家の行動力が弱く、講義主義の井をのりこえて前進しつつとした瞬間に、斗いはおしとめられ、ひきこもられた。労働者には、資本の方角をさづかられ、政治は政治家の各面にひきもどされた。一たん解き放たれたエキセルギーは、急速に冷却しつゝあるかのように見える。スルジヨアジーの政治的スローラムは、挫折中でも彼らの帝國主義的進出のために不可欠の安保条約改訂文書、密使団に進み得る状況をつくつた。彼らの追求争いは、衰えはじめる。しかし、この期間を資本階級が、到底もく資本攻撃を労働階級に加えつつある。國家権力による辯護は行なわれている。改進主義者は、資本攻撃の斗争を政治カンパニアに行なうであつた。彼らの追求争いは、衰えはじめる。しかし、この期間を資本階級が、到底もく資本攻撃を労働階級に加えつつある。何々に斗争を今断し放逐しておく彼らは、労働階級は

久田本筋初著
級の讀書

握切り、腰下げの中央に自信を失ひ意氣消沈して勝敗の結果を悟らざつ。我々は政治的危機を經濟的恐慌を連絡として不可逆的に発展するであつてと実感論を述べたことは出来ぬ。必要なのは労働者階級の統一行動を維持し得る更に革命的指導部である。運動に付いて見る大衆が多ければ多いほど、その自尊心は高まれば高まるほど、それが最初のスローガンは性自然なものであつて最も大衆運動の自信をためし、それを促進せしめる断乎たる決意を表わせるのである。その斗争の契機は資本の支配によつてすべての労働者に対する手口づけている。

すぐに官公労の農工斗争、駅事、高知の動員斗争、労働力長期雇用制度をめぐる斗争等、労働者階級の資本の攻撃に対する抗争では、革命的指導部の欠陥にもかゝわらず、寂しく燃えあがつてゐる。

労働者の多数を獲得する革命的左翼の確立をかうどれ！

六 日本労働者階級の指導部

日本労働者階級の指導部は幾つかの潮流が混じて眞の指導部を代表しないのがを検討してみよう。そのためには反対斗争といふ當時の教科書にもさやの所綱斗爭の学校の中でもレタリアートが彼らの本質をいかにして見んだかを見るのが最も教訓的である。

全労リ不況の中での資本攻撃に対する全く資本家力手力差をわざりにしている。總同盟正立の政治理由は絶たれたわけにはいえ、あるものは法皇誕生日賀成し、或る者は労働者の余り力尽りの象徴に驚きながら一方反対運動を必ずするための組織者としての役割を果した。

総評主張は戦略的には対アーリカ帝国主義（基起斗争）は通じるが併時に地域人民主義（田中政府主義、町ぐるみ斗争）と田中の改良主義的思想をその上に移植して指導理念としていた高野承に対してもアーリカアーリジーの急速な後退過程の中で差別化斗争によるヨレタリアートへのモードを想起し、借金子弟等対スルジヨアノ問題を中心にしてスラムから急速に大企業の労働者を獲得することによって支配を確立したブルーフ。しかし彼らは昨年末の下部労働大衆の発展に警戒しながら前とその斗争を抑制し、排斥させながら國勢を敵に走り渡し、日露戦の動員斗争を宣達し、この方針の妥協化で平和を政治的に奪つことに熱中し、おまけに之全労リの階級協調主義者との争いを繰り返す。後ろは廢帝志及対官僚、労働者の怒りに敏感に反応しなかつて一々を採ることを重視され、不条理口ひきの工

かしやく西に半島を第一革命由来の独立のためにオーバーレーンを想起せよ。我々は改良主義者と/or木島源などの統一はフルジタアジ^{フリジタアジ}との同盟を達成して改めて革命的スローガンアートを公表させたものであることをかげたい。たゞ今日本は老練な日本スローガンアートの癡生する所で革命的勢力を含み、最も実戦的手段に意を用いていふ。それ故に我々が共産党との同時の種族的差異を主張するとするならば、我々の田舎は全く幼児の空氣に終らに違ひない。しかし我々はその児童が革命的に醒悟するとの思想とも感想である。我々は一枚岩の田舎の神話に服す。ことにひくその徳としておこしてしまつてはなく革命的な共産主義を代りオ高潔な心がかり便るために我々は最もも効果的な具体性に応じた運動をひきだすのであるおいても行うであつう。組織は是空氣の下では成長しない。正しい理解、正しい立場のみでゆくが長しない。劣位看護師の斗争が起きた課題に最もも苦労するが、最もも所然的と思へば斗争の先頭にたつて斗つことによつてその度に革命的方法を実現するの若初石にござつたえり」とが出来る。

我々は立場に一切の依存主義から離れて、而して「個性」と「能力」をもつた國民的獨立に寄せる。ブルーノン・ペイドリック等の小スルジョア社会主義者と異し、眞正なロシタニアの理論を打ち立てたマルクスの事業もまた大いにニード・ズムに武装された組織を作りあげた。二つの事業もがくしく彼の青年時代においてその差異が示されたのであつた。新しい革命的運動は所轄斗争の側面を許さる時に實に革命的な才覚で直に参加者の多數を獲得しきる事が革命の大運営として成長するであつた。

その意識的推進体として我々は「共産主義同盟」（仮称）の結成にて事業に直ちに取り組んであつた。我々は革命的新宿、ヤンフレット・スターイン主義者の手にまつていんやうにされた革命的文章を發行するのであつた。

我々は眞に革命的理論を掌握し、革命運動の教訓から学び、すこじ生半才をもじぐやとした「現代マルクス主義」に対し眞のマルクス主義のをもつて對処するであつた。ヨウガ君主者、吉野家、婦人の革命的組織の能成にも取り組んであつた。

我々の事業は無限である。だが我々は前進するであつた。